

除雪ロータリ（2．2 m級）仕様書

平成27年度

除雪ロータリ（2. 2 m級）仕様書

概 要

この仕様書は、除雪ドーザ（2. 2 m級）に適用するもので、納入機は以下に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性及び良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）その他関連する法令等に適合するものでなければならない。

ここに明記されていない事項については日南町（以下「甲」という。）と納入業者（以下「乙」という。）が協議の上、決定するものとする。

1. 購入台数 1 台

2. 性 能 （JIS D6509 性能試験）

- | | |
|----------|--------------|
| （1）最大除雪量 | 2,300 t/h 以上 |
| （2）投雪距離 | 0～35 m 以上 |
| （3）最大除雪幅 | 2,200 mm 以上 |
| （4）最大除雪高 | 1,500 mm 以上 |
| （5）走行速度 | 40 km/h 以上 |
| （6）騒音レベル | |

「騒音障害防止のためのガイドライン」（厚生労働省平成4年10月1日、基発第546号）第Ⅰ管理区分に準ずる。（測定方法は

3. 主要諸元

- | | |
|--|--------------|
| （1）全 長（走行姿勢） | 8,000 mm 以下 |
| （2）全 幅（除雪装置含む） | 2,200 mm 以下 |
| （除雪装置除く） | 2,200 mm 以下 |
| （3）全 高（黄色灯火上端まで） | 3,800 mm 以下 |
| （4）最低地上高 | 250 mm 以上 |
| （5）車両総質量 | 15,000 kg 以下 |
| なお、「8. 付属装置及び付属品 （2）車両総質量に含まないもの」以外は、
本車両総質量に含むものとする。 | |
| （6）最小回転半径（最外側車輪中心） | 8.0 m 以下 |
| （7）乗車定員 | 2 人 |

4. 車 体

- | | |
|--------|------------|
| （1）機 関 | |
| 形 式 | 水冷、ディーゼル機関 |
| 定格出力 | 180 kW 以上 |

- | | |
|-----------|---|
| (2) 駆動方式 | |
| 形 式 | 総輪駆動式、前後輪ダブルタイヤ |
| (3) タ イ ヤ | |
| 形 式 | スノータイヤ |
| (4) 走行装置 | |
| | 後車輪もしくは前後車輪に懸架装置を有すること |
| (5) かじ取装置 | |
| 形 式 | 油圧式車体屈折機構式 |
| (6) 運 転 室 | |
| 構 造 | 全鋼製密閉型 |
| 窓 | (前・後)熱線ガラス
(側)合わせガラスまたは強化ガラス
(前・後)冬用ワイパーブレード付 |
| ハンドル位置 | 左ハンドル |

5. 除雪装置

- | | |
|----------|--|
| (1) 形 式 | ツーステージ形、ロータリ除雪装置 |
| (2) 構 成 | オーガ・ブロー・放出角可変型ブローケース・伸縮起倒式
シュート・雪切板（左右）・油圧式チップバック |
| (3) 能 力 | |
| ブロー放出角度 | 右 35～左 60 度 以上 |
| シュート旋回角度 | 340 度 以上 |
| シュート高さ | 4,000 mm 以上 |
| 昇降範囲 | 地下 100mm～地上 300mm 以上 |
| チルト角度 | 左右各 4 度 以上 |
| シュー | 除雪装置の接地状態を調整できるシューを有すること |
| 安全装置 | 除雪装置に設計を超える負荷が生じた場合に、機械を
保護する安全装置を備えるものとする。
除雪装置を停止させる安全装置を備えるものとする。 |
| その他 | ブローケース、シュート系統、装置チルトは油圧作動
とする。 |
| (4) 操作方式 | ジョイスティックレバーによる操作 |

6. 計器類

- | | |
|-----------------------------|-----|
| (1) 運行記録計 (90km/h、機関回転数記録) | 1 式 |
| (2) 速度計又は機関回転計 | 1 式 |
| (3) 燃料計 | 1 式 |
| (4) アワーメータ | 1 式 |
| (5) 油圧計又は油圧警告灯 (走行用油圧回路補給用) | 1 式 |
| (6) 油温計又は油温警告灯 (走行用油圧回路用) | 1 式 |

- | | |
|--------------------|-----|
| (7) 水温計 | 1 式 |
| (8) 充電警告灯 | 1 式 |
| (9) 機関油圧計又は機関油圧警告灯 | 1 式 |

7. 照明装置類

- | | |
|--|-------|
| (1) 前部霧灯又は前部作業灯 | 2 灯 |
| (2) 前方作業灯 (シュート灯) | 1 灯以上 |
| (3) 後方作業灯 | 1 灯以上 |
| (4) 黄色灯火 (散光式) 前 全幅 500mm 以上 | 1 式 |
| (5) 大型後部反射器 後 全幅 1,100mm 以上 | 1 式 |
| (6) キャブ上部作業灯 (可動式スポット灯) | 1 式 |
| (7) ステップランプ | 1 式 |

8. 付属装置及び付属品

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 車両総質量に含むもの | |
| バックブザー (後方 1 mにおいて、音圧 80dB(A) 以上) | 1 式 |
| エアコン | 1 式 |
| ウインドウォッシャー (前面、電動式) | 1 式 |
| アンダーミラー (後) | 1 式 |
| 標識板 (300×570mm以上、車体後部取付) | 1 式 |
| サイドミラー (左右) | 1 式 |
| (2) 車両総質量に含まないもの | |
| 予備シャーピン (全種類各 10 本) | 1 式 |
| タイヤチェーン | 1 式 |
| 床マット | 1 式 |
| 標準付属工具 | 1 式 |
| 取扱説明書 | 1 部 |
| 部品表 | 1 部 |
| 履歴簿 | 1 部 |

9. 塗 装

国土交通省建設機械塗装基準による。

10. 検 査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

11. 保 証

納入後 1 箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、乙は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が 1 箇年以上にわたる場合には、それを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、甲と乙が協議の上、乙に無償修理を行わせることがある。

12. その他の事項

(1) 製造期日等の指定

納入機は新品でなければならない。

(2) 灯火の取付方法の指定

黄色灯火（以下「灯火等」という。）の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 灯火等の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和 55 年 6 月 5 日付建設省機発第 473 号。以降の改正分を含む）」に準じるものとする。

ロ) 灯火等は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、灯火等の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

(3) 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

(4) 緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については乙が行なうものとする。また、これらに係る費用は乙の負担とする。

ただし、これにより難しい場合は甲の指示を受けるものとする。

(5) 自動車損害賠償責任保険

自動車損害賠償責任保険料は、甲において負担する。入札金額には、自動車損害賠償保険料を含まない金額を記載すること。（自動車損害賠償保険料は、甲が別途支払うものとする。）

13. 納入期限の指定

平成 27 年 11 月 16 日（月）

14. 納入場所の指定

鳥取県日野郡日南町生山 日南町役場車庫とする。

15. 仕様についての問合せ先

日南町役場建設課基盤整備室

担当者：技師 森田 正明

TEL：0859-82-1113

FAX：0859-82-1478

E-mail：morita2@town.nichinan.tottori.jp

除雪ロータリ（2. 2 m級）オプション装備

4. 車体

（2）駆動方式

形 式 後輪ダブルタイヤ

（6）運転室

窓 （前・後）熱線ガラス

5. 除雪装置

（2）構 成

雪切板（左右）
油圧式チップバック

7. 照明装置類

（7）ステップランプ

1 式

8－1. 付属装置及び付属品

（※）エアコン

1 式

（※）キャブ上部作業灯（可動式スポット灯）

1 式

8－2. 車両総質量に含まないもの

（※）タイヤチェーン

1 式

（※）床マット

1 式